

< 講習内容 >

① 院内感染対策に関して、地域において指導的立場を担うことが期待される病院等の従事者を対象とした院内感染対策に関する講習会

(1) 講習内容

1. 院内感染対策のシステム化と地域ネットワーク (45分)
チーム医療と各職種の役割、地域連携、感染防止対策加算Ⅰ、Ⅱ取得施設の合同カンファレンスのありかた、災害時の感染対策
2. 院内感染関連微生物と微生物検査 (45分)
耐性菌 (extended spectrum β -lactamase (ESBL) 産生菌、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)、*Clostridium difficile*、MRSA、バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)、多剤耐性緑膿菌 (MDRP)、多剤耐性アシネトバクター)。その他関連微生物 (細菌、真菌、ウイルス) の概要、検体採取上の注意、微生物検査の実際 (染色・培養・抗原検査・遺伝子検査)。
3. 医療機関と行政の連携 (45分)
薬剤耐性菌対策アクションプランとワンヘルス・アプローチ、新興感染症への対応 (蚊媒介感染症対策を含め)
4. 院内ラウンドの実際とそのポイント (45分)
抗菌薬、環境、耐性菌、各種ラウンドの実際、チェックリストの作成と活用、院内ラウンドにおける各職種の役割
5. 抗菌薬の適正使用 (抗真菌薬も含め) (45分)
抗菌薬使用調査とその評価法、antimicrobial stewardship、抗菌薬許可制・届け出制のあり方、アンチバイオグラムの作成、治療抗菌薬の選択
6. Therapeutic drug monitoring (TDM) (45分)
グリコペプチド系薬、アミノグリコシド系薬などにおける目標血中濃度とそれに基づく投与設計
7. 日常的衛生管理 (45分)
適切な消毒、滅菌、医療器具の管理 (内視鏡も含め)、病室環境の清浄化、寝具・リネンの取扱い、感染性廃棄物の取り扱い
8. デバイス関連感染 (45分)
血管内留置カテーテル感染防止、尿路カテーテル感染防止、人工呼吸器関連感染防止対策

9. 呼吸器感染対策（45分）

飛沫感染予防策、空気感染予防策（結核感染対策含む）、麻疹・水痘・風疹・ムンプス・インフルエンザ対策等

10. 周術期感染対策（45分）

手術部位感染（SSI）予防（術後感染予防抗菌薬、術中低体温対策、血糖管理、創ケアなどバンドルアプローチ）、SSI サーベイランス

11. 血液媒介感染対策および職業感染対策（45分）

B型肝炎、C型肝炎、HIV感染症等の予防体制、針刺し事例への対応、ワクチンプログラム、職員健康管理等

12. 多剤耐性菌検出時の ICT による介入ならびにアウトブレイク対応の実際（45分）

耐性菌サーベイランスと1例検出時の介入の実際、アウトブレイクの定義、アウトブレイク時の対策（監視培養、遺伝子検査、環境調査など）、メディア対応。

13. 院内・施設内感染関連法令（40分）

医療法、感染症法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律等

14. パネルディスカッション（80分）

②. ①の受講対象となる医療機関と連携し、地域における各医療機関の院内感染対策の推進を図ることを目的とした講習会

(1) 講習内容

1. 院内感染対策のシステム化・連携（45分）

感染対策委員会・ICTの組織化、チーム医療、ICTにおける各職種の役割、耐性菌サーベイランス

2. 院内感染関連微生物と微生物検査（45分）

耐性菌（extended spectrum β -lactamase (ESBL) 産生菌、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)、*Clostridium difficile*、MRSA、バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)、多剤耐性緑膿菌 (MDRP)、多剤耐性アシネトバクター)。その他関連微生物（細菌、真菌、ウイルス）の概要、検体採取上の注意、微生物検査の実際（染色・培養・抗原検査・遺伝子検査）。

3. 感染制御の基本（45分）

標準予防策、感染経路別予防策、隔離予防策、易感染患者への対応（リスクアセスメントと対応）

4. 医療機関と行政の連携（45分）
薬剤耐性菌対策アクションプランとワンヘルス・アプローチ、新興感染症への対応（蚊媒介感染症対策を含め）
5. 高齢者介護施設における感染制御（45分）
高齢者介護施設での感染対策、日常的衛生管理、高齢者の健康管理、感染症発生時の対応、施設の感染管理体制、拠点病院・行政との連携
6. 日常的衛生管理（45分）
適切な消毒・滅菌、医療器具の管理（内視鏡も含め）、病室環境の清浄化、寝具・リネンの取扱い、感染性廃棄物の取り扱い、環境ラウンドのあり方
7. 抗菌薬の適正使用（抗真菌薬も含め）（45分）
抗菌薬使用調査とその評価法、antimicrobial stewardship、抗菌薬許可制・届け出制のあり方、アンチバイオグラムの作成、治療的血中濃度モニタリング（TDM）
8. デバイス関連感染（45分）
血管内留置カテーテル感染防止、尿路カテーテル感染防止、人工呼吸器関連感染防止対策
9. 呼吸器感染対策（45分）
飛沫感染予防策、空気感染予防策（結核感染対策含む）、麻疹・水痘・風疹・ムンプス・インフルエンザ対策等
10. 血液媒介感染対策および職業感染対策（45分）
B型肝炎、C型肝炎、HIV感染症等の予防体制、針刺し事例への対応、ワクチンプログラム、職員健康管理等
11. 周術期感染対策（45分）
手術部位感染（SSI）予防（術後感染予防抗菌薬、術中低体温対策、血糖管理、創ケアなどバンドルアプローチ）、SSI サーベイランス
12. 多剤耐性菌検出時の ICT による介入ならびにアウトブレイク対応の実際（45分）
耐性菌サーベイランスと1例検出時の介入の実際、アウトブレイクの定義、アウトブレイク時の対策（監視培養、遺伝子検査、環境調査など）、メディア対応。
13. 院内・施設内感染関連法令（40分）
医療法、感染症法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律等
14. パネルディスカッション（80分）

③ 高度な医療を提供する特定機能病院等の院内感染対策の推進及び近隣医療機関等への指導助言体制の充実を図ることを目的とした講習会

(1) 講習内容

1. 大規模施設における感染対策システムの構築と地域ネットワーク（45分）
地域ネットワーク：情報伝達、チェックリストの作成、共同サーベイランス、感染対策の支援（コンサルテーション、アウトブレイク時の支援）、感染防止対策加算2の施設との合同カンファレンス、災害時の感染対策
2. 院内感染関連微生物（新しい話題の感染症の種類と特徴を含む）の国内外での情報（45分）
各種関連微生物（細菌、真菌、ウイルス）の概要、耐性菌（ESBL産生菌、CRE、*C. difficile*、MRSA、VRE、MDRP、多剤耐性アシネトバクター）
3. 医療機関と行政の連携（45分）
薬剤耐性菌対策アクションプランとワンヘルス・アプローチ、新興感染症への対応（蚊媒介感染症対策を含め）
4. 多剤耐性菌検出時の ICT による介入ならびにアウトブレイク対応（45分）
耐性菌サーベイランスと1例検出時の介入の実際、アウトブレイクの定義、アウトブレイク時の対策（監視培養、遺伝子検査、環境調査など）、メディア対応。
5. 院内感染対策のための情報活用（45分）
多剤耐性グラム陰性菌の定義、微生物モニタリング、抗菌薬使用量のモニタリング法 [antimicrobial use density (AUD)、day of therapy (DOT)]。情報の感染対策委員会や ICT ミーティングでの活用、医療スタッフへのフィードバック。
6. 感染症サーベイランス（45分）
デバイス関連感染症、手術部位感染症（SSI）サーベイランスの実際と情報活用
7. デバイス関連感染症予防対策（45分）
カテーテル関連性血流感染、尿留置カテーテル関連尿路感染、人工呼吸器関連呼吸感染の予防対策。
8. 手術患者における感染対策（45分）
適切な術後感染予防抗菌薬使用法、SSI 予防のための周術期管理（血糖管理、術中低体温予防、創ドレッシング、ドレーン管理）
9. 抗菌薬の適正使用（抗真菌薬も含め）（45分）
抗菌薬使用調査とその評価、抗菌薬許可制・届け出制、介入法、アンチバイオグラムの作

成、治療抗菌薬の選択

10. Therapeutic drug monitoring (TDM) (45分)

グリコペプチド系薬、アミノグリコシド系薬などにおける目標血中濃度とそれに基づく投与設計

11. 日常的衛生管理 (45分)

適切な洗浄、消毒、滅菌、医療器具消毒洗浄（内視鏡も含め）、環境清掃消毒、環境ラウンドのあり方

12. 院内・施設内感染関連法令 (40分)

医療法、感染症法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律等

13. 感染対策活動事例の紹介 (45分)

地域において指導的な役割をはたしている施設の感染対策担当者（看護師、薬剤師、臨床検査技師）による具体的な感染対策活動事例の紹介

14. パネルディスカッション (80分)